

團體協約確立運動の成績

昭和七年八月末團體協約の状況は、第一表の如く、十組合が二十五の協約を有し、その組合員は二千九百二十九名である。これを前年度に比すれば、協約數に於て四箇、組合員數に於て百八十七名を増加した。關係組合員數の増加が少いのは、既存協約工場が不況の結果人員減少を見た爲である。

第一表 團體協約現在

| 組合名 | 協約數 | 關係組合員 |
|-------|-----|------------------|
| 東京鐵工 | 6 | 440 |
| 中央合同 | 5 | 525 |
| 關東鐵造 | 3 | 51 |
| 神奈川鐵工 | 1 | 16 |
| 秋田鐵九工 | 1 | 350 |
| 秋田製材 | 5 | 305 |
| 染色勞働 | 2 | 67 |
| 東京革工 | 1 | 180 |
| 出版印刷 | 1 | 98 |
| 製綱勞働 | 1 | (川崎)897 -1602 |
| 10 組合 | 25 | 2,929 |

第二表 新成立協約

| 會社名 | 組合名 | 組合員 | 成立年月 |
|--------------|------|-----|------|
| レナウンメリヤス株式会社 | 中央合同 | 170 | 7.7 |
| 東京油肥株式会社 | " | 25 | 7.8 |
| ニオンゴム工場 | " | 25 | 6.8 |
| 江口染工場 | 染色勞働 | 19 | 7.5 |
| 櫻田機械製作所 | 東京鐵工 | 110 | 7.6 |
| 五會社 | 3 組合 | 349 | — |

本年度（昭和六年九月—昭和七年八月）に於ける新成立の協約は、第二表の如く五協約三百四十九人であつた。中央合同勞働組合が三協約で最も多く、何れも全部中小工場であつた。

本年度に於て解消したる協約は東京鐵工組合關係に於て一協約（三十名）であつた。これは川口町淺見鋸物工場で我同盟の團體協約運動は、第三表の如く累年其數を増加し、範圍を擴大しつつあるが、我等の豫期するが如き好成績を収めて居るとは言ひ難い。言ふ迄もなく團體協約は、雇主の開明なる態度と、勞働組合の内容充實と相並んで初めて成立し得るものである。今後一層の努力を要する。

多く、その成績良好であつて、紛議をかちせるもの一見することなく、勞働條件の改善を行ふことが出来る。運用技術も次第に熟練しつつあるを認めることが出来る。我同盟加盟組合員に於ける團體協約思想は今日遺憾なく徹底すると共に、未だ組合を公認せざる雇主の間にも、組合否認思想が漸次失はれつつあることは注目すべき現象である。二三の特殊なる頑迷雇主を除き大體この開明的態度は漸次大工場にも及びつつあることは、率直に認められるところである。

第三表 團體協約累年表

| 年 | 關係組合 | 協約 | 關係組合員 |
|------|------|----|-------|
| 大正13 | 2 | 6 | 405 |
| 14 | 2 | 6 | 405 |
| 15 | 3 | 4 | 1583 |
| 昭和2 | 5 | 10 | 1736 |
| 3 | 5 | 15 | 2066 |
| 4 | 7 | 20 | 2452 |
| 5 | 8 | 31 | 2573 |
| 6 | 10 | 34 | 2732 |
| 7 | 10 | 38 | 2929 |

團體協約に依る勞資關係は、委員會の開設せるもの最も